

東葉高速線新駅整備工事の今後の見込みについて（報告）

東葉高速線の新駅整備工事につきましては、令和6年第1回定例会において歳出予算と債務負担行為を合わせて7,143,346千円の予算を議決いただき、令和6年4月に本市と東葉高速鉄道株式会社との間で新駅整備工事に関する基本協定を締結しているところです。

新駅整備工事は、大きく分けて土木建築と電気設備等があり、このうち土木建築の工事費については、上記の予算のうち4,760,000千円を見込んでおりましたが、この度、東葉高速鉄道株式会社による業者選定手続きの結果、同社より最低金額を提示した工事会社と工事価格5,790,000千円で契約したいとの報告を受けました。

工事費が見込んでいた額を1,030,000千円上回っている要因について確認したところ、急激な物価高騰の影響や安全上より望ましい施工方法への見直し等やむを得ない要因によるものであることを確認いたしました。

新駅は、海老川上流地区のまちづくりの核となる重要な役割を果たす施設であり、昨今の公共事業を取り巻く厳しい状況、工事スケジュール等を鑑み、確実な整備の進捗のため、令和6年12月中に東葉高速鉄道株式会社と工事会社において、土木建築工事の契約を締結する予定であることを御報告いたします。

なお、今後算出される電気設備等の工事費につきまして、引き続き内容を十分精査してまいります。土木建築と電気設備等の工事費の合計が基本協定の金額を超える場合は、その時点で改めて市議会にてご審議いただきます。

▼新駅整備工事費（令和6年4月基本協定時の計画予算）（単位：千円）

工種	金額	備考
工事費(A)	6,515,405	
土木建築	4,760,000	今回最低提示金額：5,790,000
電気設備等	1,755,405	令和7年6月に電気設備設計が完了予定
管理費(B)	627,941	管理対象工事の10%
計(A+B)	7,143,346	

▼主な増加要因

【 土木工事 約 5 5 5 百万円 増額 】

1. 物価高騰による増 約 1 8 5 百万円
工事資材等の物価高騰の影響によるもの。
2. ホーム桁の施工方法の見直しによる増 約 1 5 0 百万円
安全上の観点から、ホーム桁の施工にあたって列車運行に危険が生じる可能性のある作業を、一律で夜間作業（列車が運行していない時間帯での作業）とすることによるもの。
3. 土工、コンクリート工における施工方法の見直しによる増 約 1 3 0 百万円
土の掘削やコンコース部のスラブの打設について、安全上、施工管理上より望ましい工法へ見直すことによるもの。
4. 適切な設備環境の確保のための共通仮設費の増 約 9 0 百万円
工事に必要となる電力設備・給排水設備の敷設・設置等を、上下水道等のインフラが未整備の現場で行うために費用が増額となるもの。

【 建築工事 約 4 7 5 百万円 増額 】

1. 物価高騰による増 約 2 2 5 百万円
工事資材等の物価高騰の影響によるもの
2. 鉄骨工事、プラットフォーム上の施工方法の見直しによる増 約 2 5 0 百万円
安全上の観点から、鉄骨の建方工事等の施工にあたって列車運行に危険が生じる可能性のある作業を、一律で夜間作業とすることによるもの。

▼新駅イメージ図（色等は未決定）

